

## 平成26年9月の「思いやり通信」

### 太陽光発電向け融資 — 三井住友銀行

#### 定型審査で期間短く



三井住友銀行は、定型の審査で貸し出し実行までの期間を縮めた太陽光発電設備向け融資を始めます。2ヶ月未満の小規模な事業を対象に、平均1か月程度の審査で5億円まで貸し出します。

(2014年8月4日 日本経済新聞記事から抜粋)

### 水上に太陽光発電所 — 発電量、陸上より1割増



太陽光発電施工大手のウエストホールディングスは、池などの水面に太陽光パネルを並べる「水上太陽光発電所」の建設工事を始めます。

調整池をもつ自治体などからの需要を見込んでいます。発電量は冷却効果によって陸上より1割増見通しです。

(2014年8月9日 日本経済新聞記事から抜粋)

### 省エネ補助金倍増 — 経産相、来年度予算で方針



茂木敏充経済産業相は、省エネルギー設備の普及を促すための企業向けの補助金を2015年度予算で倍増させる方針を明らかにしました。2014年度は410億円を計上しています。

(2014年8月19日 日本経済新聞記事から抜粋)

## 今どき節電術

### ムダな電力一目で 「楽しくお得に」 家庭へ提案競う



電気の使用状況を30分ごとにグラフやイラストで随時確認できるサービス。

「電気の見える化」。大手電力でも1か月単位の使用状況ならウェブサイト上で無料で確認できるサービスを提供しています。楽天はポイント付与：電力使用のピーク時間帯に外出して自宅の電気使用量を減らすと、クーポンやポイントがもらえるサービスも登場しています。

(2014年8月5日 日本経済新聞記事から抜粋)

### プラン見直し、家計に即効 使用料そのまま 6割安の時間も



東日本大震災後、家計における電気料金の負担は増す一方です。

総務省の家計調査によると、2013年の家計に占める電気料金の割合（全国平均）は3.66%。2000年代前半は3.0%前後でした。原子力発電所の停止で膨らんだ火力発電の燃料費を電力会社が料金に転嫁したためです。

東京電力の8月の家庭向けモデル料金は、震災が発生した当時よりも36%高い8,509円。関西電力なども3割近く上がりました。

関西電力の「はぴeタイム」は、夜間の料金が一般的なプランより最大約65%安くなります。

**契約容量を小さく**：自宅の電気容量を小さくする方法もあります。電気の基本料金は契約容量によって異なります。必要以上の容量を確保して余分なお金を払っている可能性もあります。

(2014年8月6日 日本経済新聞記事から抜粋)

### マンションに電力販売 — KDDI、5%安く提供



KDDIは、マンションを対象とした電力の小売りを9月に始めると発表しました。電力会社から供給を受けた電力の電圧をマンション内の設備で調整して各戸に配る方式を利用し、入居世帯の電力料金を従来より約5%安くします。

(2014年8月28日 日本経済新聞記事から抜粋)

テーマは「思いやり」 エコライフについて考えます。

思いやり通信 NO. 3

## 断熱性能最高水準の窓 — LIXIL、来年発売

### 海外向け販売にも意欲



LIXILは、断熱性能に優れた住宅向けの窓2製品を2015年発売すると発表しました。樹脂フレームの窓「エルスターX」は、断熱性能を国内最高水準にしました。

(2014年8月28日 日本経済新聞記事から抜粋)

